

10月まき業務用コマツナの有望品種の選定

宮澤直樹・馬場 隆
(江戸川分場)

【要 約】極立性で収量性が高く、生育の揃いが良い業務用向きの品種は、「あっちゃん」「こいしい菜」である。また、収量性が高く揃いが良い品種の中で、葉が厚く商品性が高い品種は「里まつり」である。

【目 的】

近年、学校給食用および加工用などの業務用コマツナの需要が増えている中で、業務用に適するコマツナ品種はこれまで未検討である。そこで、10月まき業務用コマツナの品種を比較し、有望品種を選定する。

【方法】

15品種を供試し、2021年10月7日に近紫外線除去フィルムを展張したパイプハウスに条間14cm、株間8cmで播種した。施肥は全量基肥で、N-P₂O₅-K₂Oを10-10-10kg/10a施用した。雨天時には雨の侵入を防ぐため適宜開閉し、11月17日に生育調査を行った。

【成果の概要】

1. 生育期間中の気象条件をみると、気温は10月第4、第5、第6半旬は平年より低く推移したが、それ以外の期間は平年より高く推移した。日照時間は生育期間を通して平年より高く推移した(表1)。
2. 業務用コマツナで求められる品種特性は、重量が重いこと、生育の揃いが良いこと、立性であること、葉が厚いこと、などである。葉の厚さは、薄すぎると萎れやすく、特に加工用では薄いと包装後の脱気処理の際に折れて変色しやすいため、特性として考慮される。なお、草丈は重視されないため評価の対象としない。表2に品種特性を示した。
3. 地上部重は「スカイホワイト」が80.6gと最も重く、次いで「あっちゃん」から「里まつり」までが72.8g~67.5gであり、これらは収量性が高いと考えられた。ただし、「スカイホワイト」は草姿が中でやや開帳性であり、下葉調整時の重量減少率が高かった。収量性が高い中で、地上部重の変動係数(c.v.)が小さく揃いの良い品種は「あっちゃん、こいしい菜、里ごころ、里まつり」であった。また、収量性が高い中で、草姿が極立性で作業性が良いと考えられる品種は「あっちゃん、こいしい菜、神楽坂」であった。
4. 葉が厚い品種は、地上部重が「いなむら」以下で生育が遅い品種が主であったが、収量性が上位の品種においても葉が薄すぎる品種はなかった。また、「里まつり」は収量性が高い中で葉も厚く、商品性が高いと考えられた。
5. 以上の結果から、10月まきの作型において、極立性で、収量性が高く、生育の揃いが良い業務用向きの品種は「あっちゃん、こいしい菜」であった。また、収量性が高く揃いが良い品種の中で葉が厚く商品性の高い品種は「里まつり」であった。

【残された課題・成果の活用・留意点】

本試験のデータは、出荷先の要望への対応に利活用できる。

表1 栽培期間中の気温，日照時間の推移

月	半旬	平均気温(°C)						日照時間		降水量	
		日平均		日最高		日最低		本年 (hr)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
	2	22.6	+2.0	26.5	+2.3	19.6	+2.1	28.2	111	2	5
	3	20.6	+1.0	23.8	+0.9	17.9	+1.1	25.2	129	6	22
10	4	16.3	-1.0	20.1	-0.8	13.1	-1.4	18.9	102	21	41
	5	13.9	-3.6	18.0	-2.6	10.2	-4.4	27.1	134	12	26
	6	15.3	-1.2	19.2	-1.2	12.3	-0.9	34.9	99	37	158
	1	16.8	+1.3	21.1	+1.6	13.8	+1.8	34.9	119	0	0
11	2	16.3	+1.0	20.2	+1.1	13.2	+1.1	27.7	119	33	246
	3	15.0	+1.3	20.3	+2.9	10.8	+0.3	46.4	197	0	0

気象庁（江戸川臨海地点）のデータを使用。平年差は2010～2020年の10年間の平均値と比較した。

表2 10月まき施設コマツナの品種特性

No.	品種名	種苗 会社 ^a	地上部重		重量減少率 ^b (%)	草丈		地上部重 /草丈	葉数 ^c (枚)	葉色 (SPAD)	葉厚 (mm)	中肋基幅 (mm)	草姿 ^d
			(g)	c. v.		(cm)	c. v.						
1	スカイホワイト	ニ	80.6	25.9	14.3	33.5	6.2	2.4	7.5	37.0	0.34	22.1	中
2	あっちゃん	ユ	72.8	18.3	6.6	40.7	5.2	1.8	8.7	45.0	0.29	16.3	極立
3	こいしい菜	カ	69.9	20.3	3.7	36.2	5.0	1.9	9.4	44.1	0.32	16.8	極立
4	江戸の小町	ニ	68.3	25.4	6.9	37.4	7.0	1.8	7.9	45.7	0.30	16.9	立
5	神楽坂	ニ	67.8	24.9	5.1	36.4	5.4	1.9	8.1	44.2	0.30	17.4	極立
6	里ごころ	ム	67.8	20.7	5.4	35.7	5.8	1.9	7.3	41.1	0.30	22.0	立
7	里まつり	ム	67.5	22.8	4.6	29.5	5.6	2.3	9.1	51.0	0.39	18.8	立
8	いなむら	サ	62.6	23.0	5.6	33.0	3.6	1.9	8.4	50.4	0.33	16.3	極立
9	浜ちゃん	ユ	62.5	43.5	9.0	32.9	13.6	1.9	8.6	48.3	0.34	20.0	中
10	春のセンバツ	ト	62.1	14.0	3.9	30.8	6.4	2.0	8.5	46.8	0.37	19.0	極立
11	ひと夏の恋	ニ	62.0	14.7	5.1	30.2	3.7	2.1	7.8	50.5	0.37	19.8	極立
12	里のなつ	ム	62.0	13.5	3.7	32.0	3.0	1.9	8.9	54.6	0.39	17.1	極立
13	のりちゃん	ユ	60.7	24.1	3.9	29.8	4.5	2.0	9.6	49.0	0.36	15.4	極立
14	よかった菜	カ	59.9	22.3	8.3	39.0	4.0	1.5	8.0	45.8	0.30	16.8	極立
15	いなせ菜	カ	57.6	30.6	5.9	34.8	5.8	1.7	7.9	42.5	0.32	17.3	極立

品種は地上部重が大きい順に列記した。

a) ニ(日本農林社)，ユ(雪印種苗)，カ(カネコ種苗)，ム(武蔵野種苗園)，サ(サカタのタネ)，ト(トキタ種苗)。

b) 重量減少率は，開帳した葉を調整した際の重量減少率。

c) 葉数は，最大葉長の半分以下の新葉は除いた。

d) 草姿：極立～立～中～やや開～開。